

事務事業評価(平成28年度に実施した事務事業)

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事 ★	事務事業名	事業の目的	H28 事業概要	H28 事業実績	H28決算見 込額	活動指標名 (業務量的指標)	単 位	H28 目標	H28 実績	H29 目標	事業の 進捗	必 要性	有 効性	効 率性	優 先性	総合 判定	判定理由	事業の 方向性	
																									★
32	企画部	市民協働課	02	01	08	★	バス事業	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境の確保を図る。特に、高齢者、通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する。	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便を図るため、コミュニティバスを運行する。	・各地区からJR駅へ運行する6路線を車両5台で運行するコミュニティバス事業の実施。 ・鷺津地区内を循環する路線の運行。	67,796	コミュニティバス年間利用者数	人	90,000	81,362	90,000	B	A	B	B	A	B		需要の少ない地域や交通空白地域となっている地域の対応を検討する必要があるため。	継続
34	企画部	市民協働課	02	01	08	★	地域公共交通対策事業	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る。	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進捗管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。	地域公共交通会議の開催(5回) バス運行評価改善委員会の開催(3回) 路線退出に伴う自主運行バスの運行	14,550	地域公共交通利用圏域	%	86	86	86	A	A	A	A	A	A		市・運行事業者による運営事務局を中心に取組体制を構築し、コーちゃんバスの改善につなげている。	継続
35	企画部	市民協働課	02	01	08	★	天竜浜名湖鉄道対策事業	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る。	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイルール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで、経営を長期安定化する。	天竜浜名湖鉄道経営助成基金への負担金 天竜浜名湖鉄道市町会議での利用促進 小学校新入学記念乗車切符の助成事業 敬老記念乗車切符の助成事業	17,188	市内乗降客数	人		330,816		A	B	B	B	B	B		沿線住民のための大切な交通手段として、維持すべき公共交通であるため。	継続
380	都市整備部	都市計画課	08	04	01	★	新所原駅周辺まちづくり事業	新所原駅周辺の整備を推進することにより、交通利便性の良いまち、安心安全なまちづくりを行う。	JR委託による自由通路新設及び橋上駅舎化事業を行い供用開始する。また、供用開始にあわせ新所原駅周辺暫定整備工事及び南口連絡通路整備工事等を行う。	自由通路新設及び橋上駅舎化委託業務 一式 自由通路新設等に伴う天浜線に係る委託業務 一式 新所原駅周辺暫定整備工事 南口暫定整備A=1,800㎡ 南北駐輪場整備A=1,600㎡ 交差点改良N=2箇所 二軒屋2号線他1道路整備工事 L=156m 街路灯設置工事 N=14基	1,280,460	駅周辺施設整備の全体計画に対する整備率(累計)	%	74	78	95	A	A	A	A	A	A		新所原駅周辺の交通結節点機能の強化、移動円滑化向上のために必要な業務である。	継続